

精神症状

意識障害

正常な意識状態

- 【反応】 刺激への反応が適切かつ敏速。 【注意】 出来事や対象に十分注意が向けられている。
 【見当識】 自分の現在の状況を正しく認識。 【記銘】 新しい出来事を誤りなく印象づけられる。
 【了解】 出来事や質問を知覚し意味を正しく理解。 全体としての【思考のまとまり】

意識混濁

●意識の明るさの障害

※意識清明：覚醒し意識内容が明瞭。精神活動は整然。

明識困難状態

- ごく軽度の意識混濁。ぼんやりした表情。注意の集中や持続の困難。
- 思考のまとまりの不十分さ。自発性の減退。見当識はあり。

傾眠

- 軽度の意識混濁。うとうととして眠りやすい。見当識障害。
- 反復刺激や呼びかけで、一時的に覚醒。問いかけにどうにか応じられる。

嗜眠・昏眠

- 中等度から高度の意識混濁。強い疼痛刺激や大声で多少の覚醒反応。

昏睡

- 完全な意識消失。自発運動の消失。筋緊張の低下・消失。尿便失禁。対光反射消失。

意識狭窄

●意識野の広がり

●意識混濁を伴うことも伴わないこともある。

Cf. あることに熱中→対象にのみ意識が集中し、他のことは意識にのぼらない。

意識変容

●意識内容の質的な変化

●意識混濁 + 不安・興奮・錯覚・幻覚・妄想

もうろう状態

- 意識混濁：軽度～中等度
- 意識狭窄が著しい
- 発症の始めと終わりは明瞭
- 健忘を残す
- 興奮の程度はせん妄より軽い
- ある程度まとまった行動

アメンチア

- 明識困難・軽度のせん妄
- 強い思考障害：思考散乱
- 幻覚・妄想は少ない
- 周囲の状況を認識し、外界と接触しようと試みるが、注意集中が困難【困惑】

せん妄

- 意識混濁：軽度～中等度
→短時間に変動
- 錯視・幻視・強い不安・興奮・徘徊
状況の誤認・激しいおびえ
- 健忘を残すことも、部分的に想起できることもある

夜間せん妄：夜間に生じる。老年期に多い。

作業せん妄：職業的・日常的に慣れた動作を繰り返す。

特殊な意識障害

失外套症候群

- 開眼し横臥。視線固定。会話や随意運動は不可能。
- 嚥下可能。睡眠覚醒リズム・対光反射は保持。
- 両側大脳の広範な損傷

無動無言症

- 眼球運動以外は無言・無動。
- 四肢麻痺はない。
- 視床下部・脳幹部の障害。

Cf. 植物状態

- 昏睡から回復後、意思疎通をほぼ喪失。
- 生命維持に必要な自律神経機能のみ残る。
- 失外套症候群・無動無言症

Cf. 閉じ込め症候群

- 意識清明
- 眼球運動以外は無動・無言。
- 周囲を認識できる。
- 眼球を動かし意思表示。
- 両側の橋底腹側部の障害

見当識障害（失見当識）

●自分がおかれている状況を認識できない。

時間的見当識障害：「今がいつか」わからない。 場所的見当識障害：「ここがどこか」わからない。

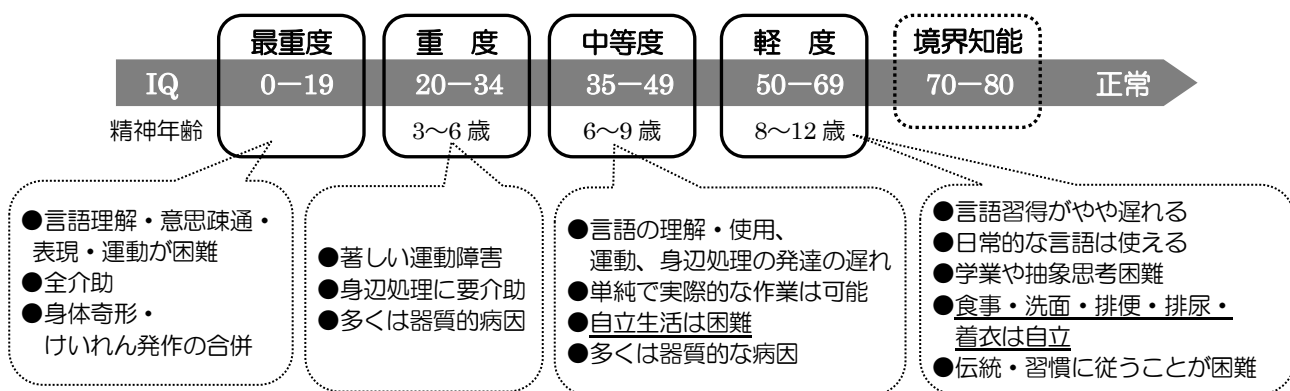
注意障害

- 集中できない・周囲の刺激に注意がそれやすい・落ち着きがない・ミスが多い。
- 【持続】の障害 ●刺激に反応し続けられない。
- 【選択】の障害 ●多くの刺激・情報から**干渉刺激を抑制し、特定の対象を選択**できない。
- 【転換】の障害 ●別の刺激・情報に**注意を転換**できない。
- 【分配】の障害 ●複数の刺激・情報に**同時に注意を分配**できない。

知能障害

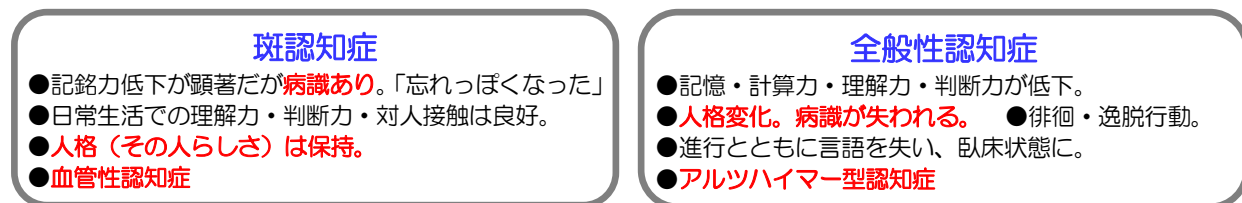
精神遅滞

- 先天性・出生時・生後間もなく脳に障害→**知能の発達障害**→生涯知能が低い。

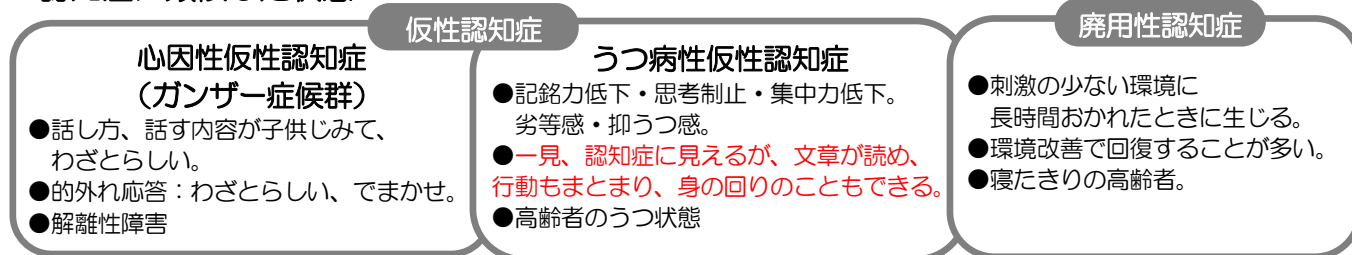


認知症

- 正常に発達した**知能**が、後天的な脳障害で**永続的、非可逆的に低下**。 ●感情や意欲、人格全体が変化。



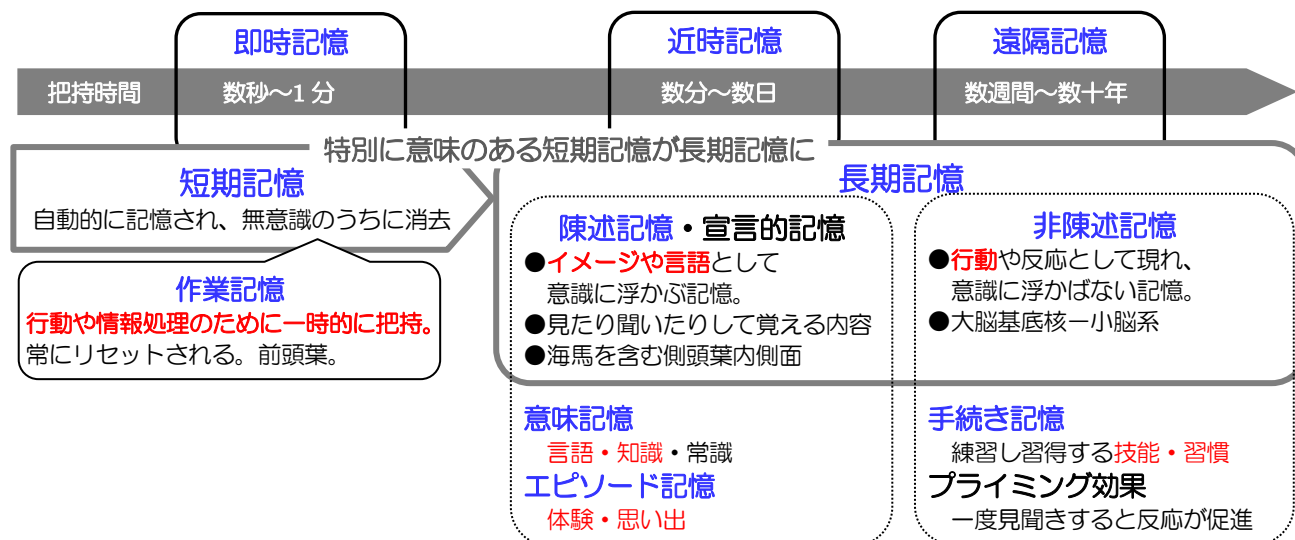
認知症に類似した状態



記憶障害

記憶の概念

【**記銘**】新しい事柄、経験を印象づける。
 【**把持**】記銘されたものを維持する。保持。
 【**追想**】把持されたものを再び意識にのぼらせる。思い出す。再生、想起。
 【**再認**】追想されたものが記銘されたものと同一であると確認する。
 ※临床上は記銘と追想が問題になる。



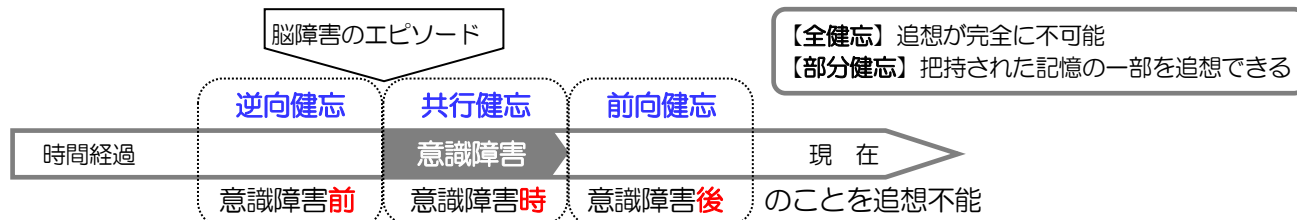
記銘障害（記銘減弱）

通常でも生じうる：注意や集中が不十分なとき・関心や興味のもてない出来事

追想障害（健忘）

注意が不十分→記銘が不完全→追想も不確実に

- 過去の一定期間の体験を追想できない。
- 陳述記憶の健忘が多い。手続き記憶は通常保たれる。



一過性全健忘

- 著しい記銘障害、逆行健忘。回復後に、永続的な全健忘。
- 行動のまとめ、状況に関する認識・一般的な知識はある。
- 即時記憶は保持 ●困惑した表情、行動。周囲の状況を何度も確かめる。
- 中年以降に好発 ●突然発症し数時間持続 ●海馬・側頭葉の一過性の血流障害が原因？

心因性健忘（解離性健忘）

- 心因により、特定の出来事、一定期間のことを想起不能
- 主にエピソード記憶の障害 ●脳器質障害はない

コルサコフ症候群 ●記銘減弱・失見当識・作話・健忘

全生活史健忘

- 一般的な知識はあるが、生活史を想起不能
- 自分の姓名・生年月日・家族を想起不能
- 想起できなくてもあわてずに無関心

再認障害（追想錯誤・記憶錯誤）

- 原体験と追想された内容とが異なる

空想性記憶錯誤：空想に合わせて記銘した内容が変化。

既視体験：はじめて見る情景を、以前に見たことがあるように感じる。

未視体験：見たことがあるごくありふれた情景を、新奇に感じる。

性格の障害

- 人格の柔軟性が失われ不適応→主観的苦悩、社会活動に支障。

性格 character

感情と意欲の面における個人の特性

人格 personality

感情や意欲、知的側面、倫理・道徳も加えた個人の特性

【知】知恵・知識・知能
【情】感情
【意】意思・意欲

性格

感情障害

【感情】刺激に対して感覚とともに生じる、快、不快という主観的体験。
【情動】一時的な激しい感情の動き。歓喜、悲嘆、不安、苦悶、激怒、驚愕。
【気分】持続的で動きの少ない穏やかな感情。喜び、幸福感、憂うつ、悲哀、不安。
【情操】高等感情。同情、愛情、羞恥心、倫理観。社会生活の価値観と関連。

不安

- 特定の**対象のない**、漠然とした恐れ。
- 手指振戦・震え・自律神経系症状。

動悸・血圧上昇・呼吸促迫・胸部苦悶・口渇・冷汗・頻尿

恐怖

- **特定の対象**への恐れ。あまり危険でないことに恐怖。不合理であると認識。

抑うつ

- 憂うつ・悲哀・悲観。不安・意欲低下・絶望・自責・罪業感・自信喪失・希死念慮を伴う。

爽快

- さわやかな高揚した気分。多弁・多動。能力や健康に自信にあふれる。楽天的・誇大的。

上機嫌

- 内容のない空虚な機嫌よさ。状況に無頓着。

自信に満ちた意欲的な活動は認めない⇨爽快

恍惚

- 超自然的、宗教的な性質をもった身体的快感、幸福感。神仏や宇宙との交流。

刺激性

- ささいな動機で、いらいら、不機嫌、興奮。

情動失禁

- 情動をうまく調整できず、**ささいなきっかけで泣いたり笑ったり**。

感情鈍麻

- **感情の動きが鈍くなり感情表出を失う**。周囲に無関心。意志発動も低下。

両価性

- 人や物事など同一の対象に、快・不快、愛情・憎悪など**正反対の感情を同時に抱く**。

感情の疎隔

- 外界の事象に対し、**生き生きとした感情が失われてしまった**、と悩む。

風景を見ても美しいと思わない。親しい人に出会ってもピンとこない。
感情表出は保たれ、本人に自覚や悩みがある→感情鈍麻と異なる。

意欲の障害

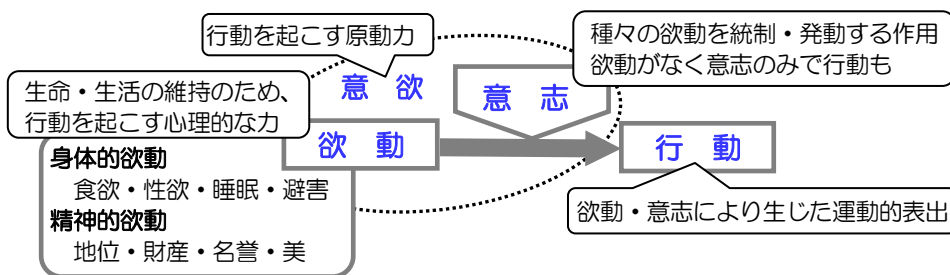
意欲の概念

欲動の異常

- 食欲・性欲の減退・亢進

- 欲動の質的異常

Ex 異食症（大小便・昆虫・髪の毛・土）



意志の統制の障害

- 意志の働きの減弱

衝動行為

- 意志の制御を受けず欲動のまま行動
- 手段、行為のもたらす結果に理性が関与しない。

意志欠如（意志薄弱）

- 意志による制御の欠如→周囲の言われるままにふらふらと行動。

精神運動興奮

精神運動

精神活動によって行う「行為」と神経機能としての「運動」との中間の概念

Cf.不 穩

落ち着かず、じっとしてられない。軽度の興奮

- 意志の発動が著しく亢進。著しい行動過多。多弁・多動。

躁病性興奮

- 爽快感・高揚気分を背景
- 行為心迫：何かをせざるにられない
行為の目的が短時間に次々と変わる
- 对人的に積極・過干渉 ●接触性は良好

緊張病性興奮

- 緊張型の統合失調症
- 恐怖・不安・緊張・緊迫感・幻覚・妄想を背景
- 運動心迫：1つ1つの動作の目的・関連が不明確
- 接触性不良

その他の精神運動興奮

もうろう状態・精神遅滞・てんかん・器質性精神障害・解離性障害・振戦せん妄・アカシジア（静座不能）

- 拒絶症：拒絶的な態度
ex) 座らせようとすると立ち上がる。拒食。
- 衛奇：奇妙でわざとらしい行為
ex) 右手と右足を同時に出しながら歩く。
- 常同症（運動常同・行為常同）
状況に沿わない無意味な行動を定期的に反復

精神運動抑制（制止）

- 欲動は低下していないが、意志の発動が低下。思考・行動が緩慢・口数が少ない。
- 患者に自覚はある。「気がわからない」「おっくう」

緊張病症状群

緊張病性昏迷・興奮が交互に出現
緊張型統合失調症、器質性・症状精神障害、中毒など

昏 迷

- 意志の発動が高度に低下。精神的・身体的に反応できない。

- 無動・無言・無反応かつ意識清明 意識障害による無動・無言・無反応と区別

うつ病性昏迷

- うつ病で精神運動が高度に低下
- 完全な無動ではない
悲しそうな表情を微妙に表す。
問いかけにわずかに口を動かす。

緊張病性昏迷

- 緊張型の統合失調症 ●硬い表情で無動、無言
- 恐怖・不安・緊張・緊迫感・幻覚・妄想を背景
ex) 恐怖にすくんで動けない。幻聴に操作される。

解離性昏迷

- 心因性の昏迷
- 演技的傾向

- 常同姿態：不自然な姿勢を一定に保つ。
- カタレプシー：他動的に一定の姿勢をとらせると、そのまま維持。
- 拒絶症：何事も受けつけない拒否的態度。
- 反響症：相手の動作や表情、言葉をそのまま繰り返す。

途 絶

- 相反する欲動が突然対立し、言動が急に中断。

両価性→行動が中断

思考途絶→会話中に話すのを中断

幻覚・作為体験→行動中に干渉され中断

強迫行為

- 無意味・不合理な行為を、意志に反して行わずにいられない→行わないようにすると不安に。
- 不合理さは自覚。
- 病的恐怖と関連して生じる。

洗淨強迫：何度も手を洗う。不潔恐怖と関与。

確認強迫：戸締まり、ガス栓の閉め忘れを何度も確認。

強迫欲動（強迫衝動）

ex) 「人を殺してしまおう」「線路に飛び込もう」

- 意志に反して生じてくる、行為への衝動。 ●攻撃的・破壊的・反道徳的行動。
- 実行には移されない。事が重大なので抑制がかかる。→実行に移されたら「強迫行為」
- 衝動を実行に移してしまうのではないか、という恐怖。生活に支障をきたす。